中央アルプス縦走（木曽駒～宝剣～空木）

山行日：２０１８年7月２１日～7月２３日

コース：7/21　新松戸 6:10＝駒ヶ根＝木曽駒ロープウエイ千畳敷駅 13:15－宝剣山荘 14:05/14:35－
－木曽駒ケ岳 15:10/15:30－宝剣山荘 16:05
7/22　宝剣山荘 5:20－宝剣岳 5:40－極楽平 6:30－檜尾岳 9:40/9:50－熊沢岳 11:50/12:00－
－東川岳―13:45/13:55－木曽殿山荘 14:15
7/23　木曽殿山荘 5:30－空木岳 7:00/7:15－分岐 8:15－池山小屋分岐(水場)11:05/11:20－
－池山林道終点 12:10/12：20－登山口 13：10＝駒ヶ根＝松戸

ようやく梅雨も明けて、いよいよ夏山に挑戦という今回の空木岳。ところが、朝一番、予定のあずさ１号に乗り遅れてしまいました。次のあずさ５１号に乗車、おいかけて岡谷駅のホームで、Ｌとメンバーが待っていて下さり合流することができました。綿密な計画を一瞬で台無しにしてしまったのに、優しいＬとメンバーでした。

千畳敷カールは、高山植物が咲きみだれ、大勢のハイカーでにぎわっていました。コバイケイソウ、ハクサンイチゲ、シナノキンバイ、チングルマはもう綿毛です。

今回の山行のリーダーは、鈴木さんです。乗越浄土まで、いきなり急登ですが、あっという間に到着しました。宝剣山荘は、（泊まったのは、天狗荘）すぐそばです。

荷物を置いて、駒ケ岳にのぼりました。広い山容で、南アルプスの甲斐駒～北岳～塩見～富士、御嶽山や乗鞍の堂々とした山塊も一望できます。目を転じると、明日挑戦の宝剣岳がそそりたっています。天気も良く、程よくガスが湧いてすずしく、下界は暑いだろうと申し訳なくおもいました。夜は久し振りに、満天の星でした。

２日目は、宝剣岳から登り始めました。そそりたつ岩峰ですが、まだ元気です。

まわりの明けてゆく、山並みも美しく、足元には、白い花崗岩にイワギキョウ、イワツメクサ、ミヤマダイコンソウが、咲いていて元気づけてくれます。宝剣をすぎ、極楽平、ここは、３６０度の山の稜線が、眺められ天国の様。

このトレイルで、印象的な花は、コマウスユキソウです。ハイマツと花崗岩のコントラストに、小さくけなげに咲いていました。

濁沢大峰から檜尾岳へ、縦走の核心にはいってきました。大きな岩を登ったり、下ったり、道もわかりにくく大変でした。檜尾岳の頂上は広々としていて、歩いてきた宝剣からの稜線が、はるかに眺められる。
また、前方には、熊沢岳や、空木岳が、まだまだ遠く見える。

熊沢岳までは、厳しい岩場の連続で、ひたすら岩と格闘していました。なんとかギリギリ手掛かりをみつけ登っていきました。目印もわかりづらく、何度か道を間違えたり、でも、頂上では、ゆったりとした空木岳がそびえ、宝剣からの縦走路も遙かに眺められ辛いけれど充実した気持ちになりました。

この後５つのコブを越えて山影に建つ木曽殿山荘にたどりつきました。この小屋の御主人に　水は、下の水場まで汲みに行くようにいわれました。鬼～疲れた～～～

でも、今回は、熱中症に注意といわれており、２Ｌ位、ペットボトルに汲みました。

３日目、いよいよ空木岳をめざします。真っ白い岩肌、急登です。息もハアハア上がります。

岩の殿堂のよう、一つ目のピークをすぎ、ようやく空木の頂上がみえてきて、感激です。頂上からは、中央アルプスの山々、南アルプス、北アルプスの槍、穂高もみえています。ここからは、下界にひたすら、下ることになります。水も食糧も段々と少なくなり、軽くなって、菅の台バスターミナルのこまくさの湯をめざしました。ここで一風呂浴びて、生ビールの美味しかったこと。

今回の山行は、種蔵Ｌのもと、５人足並みをそろえて、登ることができました。ギリギリでしたが、本当に楽しい山行でした。ありがとうございました。